

(様式b) 改善計画書

施設名 G&Cホームブルーミング・つうきん

(担当者:山川・出口・因・前田)

(作成年月日 令和 5 年 3 月 29 日作成)

(施設として続けるに優れている点)	1	朝礼を通じて利用者さんに関する情報共有、職員間のコミュニケーションを引き続き行っていく。						
	2	年間研修の実施、職員の学びたいことの確認、質の向上を継続していく。						
	3	地域との交流、行事に積極的に参加していく。						
	4	利用者主体の行事の計画、実施に向けての取り組みを引き続き行っていく。						
	5							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐにできること	1	事業計画の家族へ周知する	利用者・家族への事業計画の周知の徹底	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	年度初めに発行の公報に掲示し、家族にも周知する。同時に各グループホームにも掲示する。	山川・出口 因・前田
	2	ボランティア・実習生受け入れの態勢の見直し	受け入れ基盤の見直し	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	ボランティアマニュアルの見直しを行い、コロナ禍でも受け入れられるような対策を練っていく。	山川・出口 因・前田
	3	利用者の人権への配慮の確認不足	チェックリストの作成	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	利用者の人権、尊厳を守ることができるかのチェックリストを作成し、定期的に振り返りの機会を作る。	山川・出口 因・前田
	4	利用者からの相談・意見への対応	マニュアルの整備	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	利用者からの相談・意見への対応マニュアルを作成し、相談を受けるときの基準にできるようにする。周知の徹底。	山川・出口 因・前田
	5							
工夫すればできること	1	実習生受け入れ時の専門性への配慮	専門職種の特性に配慮したプログラム作成	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	プログラムの作成、幹部会へ提案していく。	山川・出口 因・前田
	2	他施設への移行等への手順書の不備	退所後の生活への冊子作り	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	他施設や家族への移行、一人暮らしを検討する利用者さん向けの退所への手順・引継書を利用者さんに分かるような冊子にまとめる。	山川・出口 因・前田
	3	家族の満足度確認不十分	定期的な家族への満足度の確認調査	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	家族への満足度調査実施へ向けて、内容や実施方法を検討、実施していく。	山川・出口 因・前田
	4	地域定着への移行マニュアルの不備	マニュアルの整備	1年	令和5年4月1日	令和6年3月31日	相談支援所とも相談をし、マニュアルを作成して活用していく。	山川・出口 因・前田
	5							
予算化しないとできないこと	1	グループホームの耐震の整備不十分	建物の耐震について整備していく	1年	令和5年4月1日	令和8年3月31日	補助金等の申請も行き、大家との相談・利用者負担についても検討していく。	尾上・後藤
	2	地域や現在の利用者さんのニーズにより対応が必要	重度・高齢者のグループホームについて検討	1年	令和5年4月1日	令和8年3月31日	定期的に検討し、実現の可能性について議論して幹部会にあげていく。	尾上・後藤
	3							
	4							
	5							